

白山平泉寺歴史探遊館 まほろば 3月のイベント案内



まほろば講座

「湖北の仏教文化—観音の里、ホトケを守るころ」

と き：3月17日（日） 13：30～15：00

内 容：滋賀県長浜市長浜城歴史博物館 佐々木悦也氏をお招きして、白山信仰に
関係する観音の信仰についてお話しします。（白山文化研究会例会）



まほろば冬のクイズ探検—3月バージョン—

と き：3月16日（土）～ 31日（日）

君はもう“まほろばクイズ”にちょうせんしたかな？

内 容：連続企画第3弾！クイズを解きながら、まほろば探検をします。
全問正解でアイテムゲット！



春休み企画 土器の“もよう”であそぼう!!

—拓本で「しおり」づくり編—

と き：3月23日（土）・24日（日） 13：00～16：00（随時受付）

内 容：平泉寺の発掘調査で出土した土器の“もよう”を「拓本」の技をつかっ
て和紙に写し取り、自分だけのオリジナル「しおり」をつくろう。

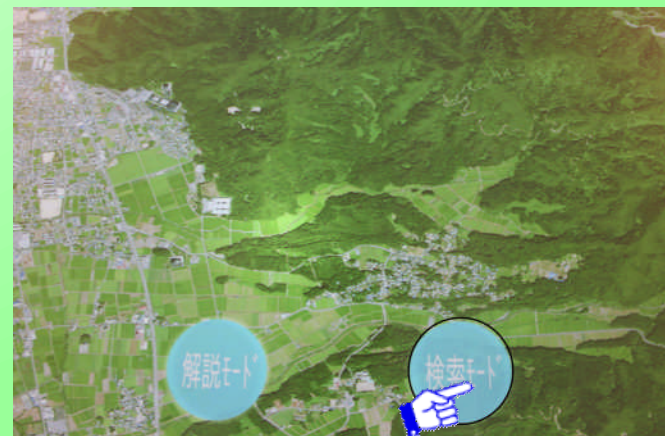
《みる・あるく・たのしむ まほろば探遊》

館内見どころシリーズ 第2回 —「タッチパネルを楽しもう」その2—



前回の「解説モード」に続き、今回は「検
索モード」をさわってみましょう。

下の写真のように「検索モード」をタッチ
すると、「日本三霊山の紹介」というコーナ
ーが始まります。



—まほろば豆知識—

「三霊山」ってな～に??

古くから神々が宿るとされ、人々
からあがめ、親しまれてきた富士
山、白山、立山のことだよ。

ぜひ、最新のタッチパネルにさわって楽しんでみてくださいね。

国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

No. 53 (2013年2月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成25年2月28日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電 話：0779-88-8113(直通)

メー ル：shiseki@city.katsuyama.lg.jp



まほろば 通信



お面づくり体験

(2月1日～3日)



2月3日は節分。そして、勝山市では2月に滝波と谷で平
泉寺にゆかりのあるお面をおまつりする行事「お面さん
まつり」があります。2月は、これにちなんで、お面づく
りの体験を行いました。

2月1日には、平泉寺
保育園の4・5歳児に
来てもらって、お面
づくりをしてもらい
ました(上写真)。
みんなで鬼のポー
ズだ～(右写真)。



…と思っていたら、突然鬼が乱入！（左下写真）

平泉寺の平和を守る“僧兵くん”あぶな～い！

みんな、豆をまいて鬼
退治だ!!

…みんなのおかげで、
鬼は逃げていった。平
泉寺の平和は守られ
たよ。めでたし、めで
たし！（右下写真）





お面づくり体験は、お面づくりの他に、「鬼探しゲーム」でクロスワードパズルを解いたり(左上写真)、「豆まきゲーム」(右上・右下写真)もやりました。



かんじきを履いた 平泉寺ウォーキング (2月9日～11日)



初日は、前日の雪で、かんじきで歩くのにちょうど良い雰囲気となりました。精進坂を出発して、社務所(左写真)から、御手洗の池、本社、



南谷発掘現場の門・土塀復元地(右写真)まで行き、精進坂へ戻ってくる約90分間コースを歩きました。参加したみなさんには、記念写真と手作りのしおりをおみやげに持って帰ってもらいました。



まほろばに到着。
あ～つかれた～。でも楽しかった～！

参加者のみなさんは、新雪を歩くことや、雪の平泉寺を歩くことなど楽しく、良い思い出になったと感想をいただきました。

まほろば到着後、平泉寺区の大門市グループのみなさんのご協力により、手作りの甘酒をいただくことができました(写真左)。



大門市グループのみなさん。あったかくて、おいしい甘酒。ありがとうございました！



まほろば講座「お面さんまつりと平泉寺」より 講師：勝山市史編さん室 山田雄造氏 (2月3日)



平泉寺でも、14～16世紀に「猿楽能」という芸能が盛んに行われていたようです。ただ1点ですが、平泉寺白山神社にのこる大永4年(1524)の史料に、「申楽」と書かれているからです(「平泉寺臨時児流鑑馬入用帳」)。

その他、滝波と谷のお面さんまつりに、床の間にかけてられる7つの面は、平泉寺からきたものと伝えられています(「お面さん由緒書」(滝波区有文書))。

また、戦国時代の平泉寺には、江戸時代の3大能面作家の家系として知られる「出目家」などの祖先である「三光坊」という人物も住んでいたようです。

14世紀以降、越前や若狭のお寺や神社では、猿楽がたいへん盛んでした。当時の都の貴族の日記や大谷寺(現越前町)など天台宗のお寺に残る史料、加賀の白山信仰の中心地である白山比咩神社(現石川県白山市)に残る史料から、それがうかがわれます。また、越前の戦国大名朝倉氏も猿楽を盛んに行っていました。

戦国時代の平泉寺は、朝倉氏とも関係が深く、白山信仰の拠点であるとともに、天台宗のお寺でもありましたので、全国的にみても、猿楽の中心地であった可能性があるのではないのでしょうか。